

日本学術振興会特別研究員-RPD申請書 提出前チェックリスト

—例年、誤りの多い箇所をリスト化しています。

当チェックリストでセルフチェックを行ってから、庶務係に申請書を提出してください！—

チェック箇所	チェック内容	チェック✓
全ページ右下 申請者登録名	氏名の入力漏れが無い	
全ページ 文字サイズ	参考文献の引用部分も含め、文字は10ポイント以上で作成している	
全ページ 様式	昨年の様式を利用していない、様式に予め入力されていた文字等を削除していない	
P1 版数	最新の版数になっている。 ※すでに申請書を「確認完了・提出」し、「OK」ボタンを押している場合は、申請管理画面下部「申請書の確認」から申請書を印刷してください。(未提出であれば第0版) 電子申請システムにアップロードした書類の版数と印刷した書類の版数が合っていないと、受け付けることができません。	
8 ローマ字表記	姓(大文字)・名(最初の1文字のみ大文字、2文字目から小文字)の順で記載している。	
13 履歴	「1.平成〇(西暦YYYY)年〇月」と和暦・西暦を併記している。 課程名・専攻名に注意して正式名称を記載している。 例) 「大阪大学 文学部 人文学科 卒」 「大阪大学 大学院博士前期課程 入学(文学研究科 文化表現論専攻) 修了見込」 「大阪大学 大学院博士前期課程 入学(文学研究科 文化形態論専攻) 修了見込」 「大阪大学 大学院修士課程 入学(文学研究科 文化動態論専攻) 修了見込」	
別紙(該当者のみ)	⑫～⑬の事項をすでに申請書1Pへ入力済の部分も含めて1.から全て記載している。	
P10 (5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応	該当しない場合は「該当なし」と記載している。 ※研究倫理審査が必要な研究以外にも、図書館や大学所蔵の古資料を扱う場合は機関ごとのルールへの配慮が必要であったり、資料に個人情報が含まれていればプライバシーへの配慮が必要であったりします。その場合は該当しますので注意してください。	
P11 4. 研究成果	・(1)～(6)まで該当の無い項目についても省略せず、項目名を記載した上で「なし」と回答している。 ・通し番号を付している。 ※通し番号は、項目ごとでも、全項目を通してでもかまいません。 ・申請者本人の氏名にアンダーラインを付している。 ・発表者氏名の前に○印を付している。 ・(1)については査読の有無を記載している。 ・(3)(4)については口頭発表/ポスター発表の別、査読の有無を記載している。 例) (1)学術雑誌等に発表した論文、著書 (査読あり) ①阪大 花子・大学 好子・ <u>大阪 太郎</u> 「大阪大学の歴史」『阪大NOW』阪大出版、10号、pp.20-25、2017年 (査読なし) ② <u>大阪 太郎</u> 「大阪大学80年史」『大阪大学研究会誌』OSAKA出版、5巻、pp.110-121、2018年 (2)学術雑誌又は商業誌における解説、総説 なし (3)国際会議における発表 (口頭発表、査読あり) ③○ <u>Taro Osaka</u> ・Hanako Handai・Jiro Ichio “History of Osaka University”, Asia University Conference 2018, Seoul University, March 2018 (4)国内学会・シンポジウム等における発表 (口頭発表、査読なし) ④○ <u>Taro Osaka</u> “OU Vision 2018”, the 51st meeting of Kansai Universities, Osaka University, May 2018 (5)特許等 なし (6)その他 ⑤ <u>大阪 太郎</u> 、大阪大学文学研究科賞(研究科内学業成績優秀者上位5名に授与)、2016年	
出力後	全12P(別紙がある場合は全13P)をA4用紙に両面印刷で、用紙左上をホチキス留めした	